寝屋川市空き家等の適正管理等及び老朽危険建築物等に係る対策の推進に関する条例

No.1

改正案	現 行
<p>(定義)</p> <p>第3条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) <u>管理不全空き家等</u> 空き家等が適正な管理が行われていないことによりそのまま放置すれば特定空き家等に該当することとなるおそれのある状態にあると認められる空き家等をいう。</p> <p>(4)～(12) (略)</p> <p>(空き家等・老朽危険建築物等対策計画)</p> <p>第8条 (略)</p> <p>2 空き家等・老朽危険建築物等対策計画においては、<u>法第7条第2項各号</u>に掲げる事項を定めるほか、同項の例に従い老朽危険建築物等に係る対策に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>3 (略)</p> <p>(寝屋川市空き家等・老朽危険建築物等対策協議会)</p> <p>第9条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 協議会は、<u>法第8条第2項</u>に規定する者である委員をもって組織する。</p>	<p>(定義)</p> <p>第3条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) <u>準特定空き家等</u> いまだ前号に規定する状態にはないが、そのまま放置すれば同号に規定する状態に至る可能性がある状態にあると認められる空き家等をいう。</p> <p>(4)～(12) (略)</p> <p>(空き家等・老朽危険建築物等対策計画)</p> <p>第8条 (略)</p> <p>2 空き家等・老朽危険建築物等対策計画においては、<u>法第6条第2項各号</u>に掲げる事項を定めるほか、同項の例に従い老朽危険建築物等に係る対策に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>3 (略)</p> <p>(寝屋川市空き家等・老朽危険建築物等対策協議会)</p> <p>第9条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 協議会は、<u>法第7条第2項</u>に規定する者である委員をもって組織する。</p>

改正案	現 行
<p>4～8 (略)</p> <p>(情報の提供の求め)</p> <p>第18条 市長は、法第10条第1項の規定による情報の利用及び同条第3項の規定による情報の提供の求めをすることができるほか、この条例の施行のために必要があると認めるときは、関係する地方公共団体の長、<u>空き家等に工作物を設置している者</u>その他の者に対して、<u>空き家等の所有者等の把握</u>に関し必要な情報の提供を求めることができる。</p> <p>(特定空き家等に対する措置)</p> <p>第20条 市長は、特定空き家等に関し、<u>法第22条第1項</u>の規定による助言若しくは指導、同条第2項の規定による勧告、同条第3項の規定による命令又は同条第9項、<u>第10項若しくは第11項</u>の規定による代執行をするものとする。この場合において、同条第3項の規定による命令を行うに当たっては、同条第4項の規定により意見書及び証拠を提出する機会を与え、又は同条第6項の規定により公開による意見の聴取を行わなければならない。</p> <p>(<u>管理不全空き家等に対する措置</u>)</p> <p>第21条 <u>市長は、管理不全空き家等に関し、法第13条第1項の規定による指導又は同条第2項の規定による勧告をするものとする。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>2 (略)</p>	<p>4～8 (略)</p> <p>(情報の提供の求め)</p> <p>第18条 市長は、法第10条第1項の規定による情報の利用及び同条第3項の規定による情報の提供の求めをすることができるほか、この条例の施行のために必要があると認めるときは、関係する地方公共団体の長_____</p> <p>_____その他の者に対して、<u>空き家等の所有者等の把握</u>に関し必要な情報の提供を求めることができる。</p> <p>(特定空き家等に対する措置)</p> <p>第20条 市長は、特定空き家等に関し、<u>法第14条第1項</u>の規定による助言若しくは指導、同条第2項の規定による勧告、同条第3項の規定による命令又は同条第9項若しくは<u>第10項</u>_____の規定による代執行をするものとする。この場合において、同条第3項の規定による命令を行うに当たっては、同条第4項の規定により意見書及び証拠を提出する機会を与え、又は同条第6項の規定により公開による意見の聴取を行わなければならない。</p> <p>(<u>準特定空き家等に対する措置</u>)</p> <p>第21条 <u>市長は、第17条に規定する調査の結果、当該空き家等が準特定空き家等に該当すると認めるときは、その所有者等に対し、当該準特定空き家等に関し、修繕、立木竹の伐採その他周辺の生活環境の保全を図るために必要な措置をとるよう助言又は指導をすることができる。</u></p> <p>2 (略)</p>

改正案	現 行
<p>(緊急危険防止措置)</p> <p>第22条 市長は、特定空き家等の管理不全の状態による市民の生命、身体又は財産に対する危険を防止するため緊急の必要があると認めるとき <u>(法第22条第11項の規定による措置をとるときを除く。)</u>は、当該特定空き家等の所有者等の負担において、その危険を防止するための必要最小限の措置を自ら行い、又はその命じた者若しくは委任した者に行わせることができる。</p> <p>2・3 (略)</p> <p>(関係行政機関等に対する協力の要請)</p> <p>第23条 市長は、必要があると認めるときは、関係行政機関、自治組織等に対し、特定空き家等又は<u>管理不全空き家等</u>に関する情報を提供して、管理不全の状態を改善するために必要な協力を要請することができる。</p> <p>(過料)</p> <p>第38条 <u>法第22条第3項</u>の規定による市長の命令に違反した者は、<u>法第30条第1項</u>の規定により、500,000円以下の過料に処する。</p> <p>2 <u>法第9条第2項</u>の規定による<u>報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入調査を拒み、妨げ、若しくは忌避した者は、法第30条第2項</u>の規定により、200,000円以下の過料に処する。</p> <p>3 (略)</p>	<p>(緊急危険防止措置)</p> <p>第22条 市長は、特定空き家等の管理不全の状態による市民の生命、身体又は財産に対する危険を防止するため緊急の必要があると認めるとき _____ _____は、当該特定空き家等の所有者等の負担において、その危険を防止するための必要最小限の措置を自ら行い、又はその命じた者若しくは委任した者に行わせることができる。</p> <p>2・3 (略)</p> <p>(関係行政機関等に対する協力の要請)</p> <p>第23条 市長は、必要があると認めるときは、関係行政機関、自治組織等に対し、特定空き家等又は<u>準特定空き家等</u>に関する情報を提供して、管理不全の状態を改善するために必要な協力を要請することができる。</p> <p>(過料)</p> <p>第38条 <u>法第14条第3項</u>の規定による市長の命令に違反した者は、<u>法第16条第1項</u>の規定により、500,000円以下の過料に処する。</p> <p>2 <u>法第9条第2項</u>の規定による _____ _____立入調査を拒み、妨げ、又は _____忌避した者は、<u>法第16条第2項</u>の規定により、200,000円以下の過料に処する。</p> <p>3 (略)</p>

改正案	現行
<p>附 則 (施行期日)</p> <p>1 この条例は、公布の日から施行する。</p> <p>(罰則に関する経過措置)</p> <p>2 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。</p>	